

- 管内 十勝管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（生徒主体の取組）
- 教育課程 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 災害時における関係機関と連携した包括的な防災教育の工夫
- 生徒が主体となった学校行事や生徒会活動の工夫

取組の実際

ねらい

- 台風被害に対する災害復興ボランティア活動や、防災・復興への啓発活動を通して、防災への意識を高めるとともに、共助の精神を育む。

内容

1 災害復興ボランティア活動

台風等により被害のあった町内において、全校生徒で災害復興ボランティア活動を実施した。浸水被害にあった家屋や市街地の泥出し作業、断水によって不便を強いられている町民のための給水活動の支援、高齢者宅への水の宅配作業等を行うことで生徒達は被災者の状況を理解し、防災の重要性について意識を高めていた。



【住宅地での泥出し作業】



【ポリタンクを持って水を宅配】

2 文化祭における防災や復興への啓発活動

「ふり向くな。光は前にある。切り拓こう。歌と共に。輝け。清水町」のテーマの下、文化祭において町民の方々に応援メッセージを伝えた。「町民の皆さんに元気を届ける」を合言葉に、オープニングの全校生徒による「第九合唱」をはじめ、学年・学級合唱等を発表した。観覧していただいた地域の方から、「地域のために自分達にできることを考えて活動していることが伝わってきた」等の感想が寄せられた。



【文化祭での応援メッセージ】

3 他校生徒会との連携

宮城県内の中学校や別海町内の中学校から、台風被害に対する応援メッセージが送られたことを参考に、今年も各地で豪雨や台風による災害が起こる中、特に被害の大きかった福岡県朝倉市立中学校に対して、復興への願いを込めたメッセージを送った。活動を通して、生徒達に共助の精神を育むことができた。



【願いを込めたメッセージ】

4 防災の日における避難訓練の実施

防災の日、北海道シェイクアウトに合わせて、地震や火災、水害等の自然災害を想定した避難訓練を実施した。休み時間に災害が発生した想定で抜き打ちで訓練することで、全校生徒が自ら考え主体的に避難行動をとることができた。また、訓練の振り返りでは、台風による被災の体験を想起し、災害へ対応するために日ごろからの心がけが大切であることを確認する発言が多く聞かれた。



【避難場所に集合する様子】

成果と課題

- 生徒は被災者の立場を理解し、防災への意識を高めるとともにボランティア活動や生徒会活動、学校行事等を通して助け合うことの大切さを学ぶことができた。
- 被災の体験を風化させないように、訓練やボランティア活動等へ計画的・継続的に取り組む必要がある。